

分離器内蔵 装置・機器用SPD

ACM-2PECA

新登場

装置・機器の直近、または内部に設置する
小形の单相2線100V、200V用SPD



特長

- 装置・機器の直近、または内部に設置することで、雷サージからの確実な保護が可能
- 小形で分離器内蔵のため、装置・機器内部のわずかなスペースに実装可能
- 安全にSPDの交換が可能なコネクタイン(2段式 3極差込端子)
- SPDの正常/寿命がわかる状態表示と警報接点出力を搭載
- アースバーをスライドするだけで、複数のACMシリーズやサンダーブロッカーProと接地の連結が可能
- 2段式の警報接点端子の採用によって、複数のACMシリーズの警報接点を一括で出力可能
- スライドスイッチによって、SPDの状態表示と警報接点出力の確認が可能
- SPDの接続線長による電圧降下を抑制するV結線に適した構造(12A以下の場合)
- 公共建築工事標準仕様書、建築設備設計基準適合

性能

- 適合規格JIS C 5381-11 クラスII対応
- I_{Total} の強化により1ランク上の総合性能
- 日本のTOV(一時的過電圧)を考慮した安全性
- 進化した安全遮断技術SITS[®]を採用

仕様

形式	ACM-2PECA	
適用回路	单相2線 100V 单相2線 200V	
適合規格	JIS C 5381-11	
防護モード	線間、接地間	
最大連続使用電圧 U_c	AC250V	
公称放電電流 I_n	8/20 μ s 5kA	
最大放電電流 I_{max}	8/20 μ s 10kA	
全放電電流 I_{Total}	8/20 μ s 20kA	
電圧防護レベル U_p	線間	1.2kV
	接地間	1.5kV
定格短絡電流 I_{SCOR}	AC220V 10kA	
SPD分離器	SPD分離器(過電流分離器)と熱分離器をSPDに内蔵	
状態表示	正常時:LED(緑)点灯 寿命時、停電時:LED消灯	
警報接点	a接点	
推奨接続電線径	電源接続端子	0.75mm ² ~ 2mm ²
	接地端子(E)	2mm ² ~ 5.5mm ²


ASLETE
 Surge Protective Device

装置・機器用SPD

ACMシリーズ

警報接点、状態表示付
コネクタ接続タイプの
ハイエンドモデル


 直流用SPD **ACM-DC50A**

 交流用SPD **ACM-2PECA**

 同軸用SPD **ACM-BNCA**

小形で分離器内蔵のため、 装置・機器内部のわずかなスペースに実装可能

SPD分離器(過電流分離器)内蔵のため、別途、SPD分離器は不要です。さらに小形形状のため、装置・機器内部のわずかなスペースに実装可能。



従来 ACM-2PECA

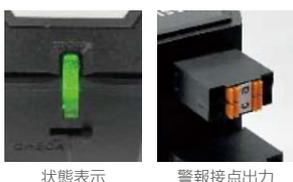
安全にSPDの交換が可能なコネクタイン

電源接続端子は2段式 3極差込端子です。端子は、感電保護を有したコネクタ接続のため、安全にSPDを取り外すことが可能です。



状態表示、警報接点出力

SPD寿命時には、SPDに内蔵するSPD分離器が動作します。状態表示は、正常時にLED緑が点灯し、寿命または停電時に消灯します。警報接点は、SPDに内蔵するSPD分離器の動作に連動して出力します。そのため、停電時の不要動作はありません。



状態表示 警報接点出力

ACMシリーズ、サンダーブロッカーProと 接地の連結が可能

アースバーをスライドするだけで、複数のACMシリーズやサンダーブロッカーProとの接地の連結(接地の共通化)が可能です。



接地極へ 機器のFGへ

ACMシリーズの警報接点を一括で出力可能

2段式の警報接点端子の採用によって、複数のACMシリーズを連結して使用する場合、警報接点を一括で出力することが可能です。



スライドスイッチによって、 SPDの状態表示と警報接点出力の確認が可能

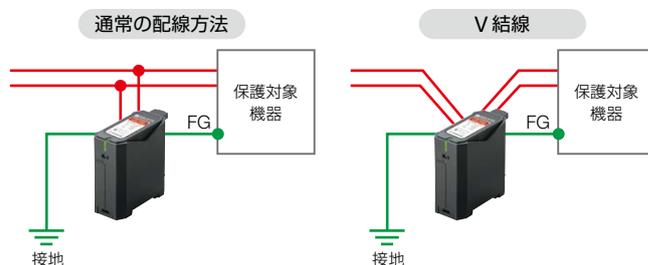
製品前面のスライドスイッチを左側(CHECK側)にスライドすることで、SPDの状態表示と警報接点出力の動作確認が可能です。



SPDの接続線長による電圧降下を抑制する V結線に適した構造

負荷電流が12A以下の場合、SPDの接続線長による電圧降下を抑制し、機器に加わる制限電圧を低減できるV結線に適した構造です。

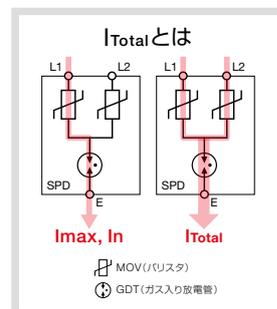
※結線では、電源から電源接続端子までの配線長はできるだけ短くしてください(0.5m以下が望ましい)。



I_{Total} の強化により1ランク上の総合性能を実現

SPDの基本性能である、公称放電電流 I_n 、最大放電電流 I_{max} は、SPDの1相当りでの性能のため、SPDの総合性能を示していません。昭電はSPDの総合性能を重視し、 I_{Total} を従来品に比べ強化しました。

※ I_{Total} は接地に流すことができる雷電流の合計でJIS C 5381-11では、これを全放電電流と規定しています。



日本のTOV(一時的過電圧)を考慮した安全性

JIS C 5381-11に規定するTOV値に加え、日本の電源システムの事故により発生するTOV値(JIS C 5381-12:2021に記載)でも試験を実施しており、日本の電源システムにおいて安全にご使用できます。

進化した安全遮断技術SITS®を採用

従来品より、防護部品(MOV:バリスタ)故障時の発熱による熱分離性能が大幅に向上。内蔵するSPD分離器(過電流分離器)と熱分離器との動作協調により、漏れ電流領域から大きな短絡電流まで、SPD単体で遮断可能です。